



「2学期スタート！」 ～秋の気配を感じながら～

まだ残暑を思わせる日があるものの、あの猛烈に暑かった夏の日がうそのように、朝夕の肌に当たる風がさわやかです。稲穂は頭を垂れながら黄金色に輝き、辺りにはとんぼが飛びかい、虫の声が響きます。秋が深まってきています。

秋を感じながら、道川分教室の2学期も無事スタートしています。感染対策により、始業式は各病棟ごとに日にちをずらしての実施でしたが、その後合同学習も始まり、4名の笑顔が咲きほこっています。

学習では、深まる秋の素材を使って自然や季節の移ろいを感じられる活動を工夫しています。

職員間で「生徒達に、この気持ちのよい季節（秋）を感じてもらいたいね」などと話題になることがあります。生徒の実態や生活環境（入院等）から、肌感覚での実感が難しい現状にあるからです。

音楽の学習（合同）で季節の歌を歌い、歌に出てくる風景や生き物の映像を見たり、音を聴いたり・・・そして、個別学習の散策等の中で、実際の風景や虫の声に触れたり、秋の風を感じてみたり・・・

その中での心地よさそうな笑顔は、秋の気配の実感であるように見えます。

本コーナーの#17や#20で学びのつながりについて載せていますが、これからも生徒達が学んだことに関係に気付ける授業づくりを大切に、学びの充実感あふれる日々となるよう努めていきたいと思っています。



【あきた病院屋上からの眺め】



【音楽の一コマ】